

区政・市政の最新ニュースをおとどけします！

天王寺区民ニュース

MOTTO EGAO AFURERU TENNOJI-KU O MEZASHITE !!

天王寺区を

日本一の

文教地域へ！

Vol. 7

2024年
10月1日発行

WE LOVE TENNOJI-KU

速報!

私たちの市民税は何に使われたのか？

令和5年度(2023年)大阪市の決算をみよう！

日々、市民の皆様から納めて頂いている貴重な市民税。大阪市は全国有数のメガシティであり、市単独で2兆円規模の予算を誇っています。そんな大阪市が令和5年度どのようなことにお金を使ったのか解説をしていきたいと思います。



決算概要

速報

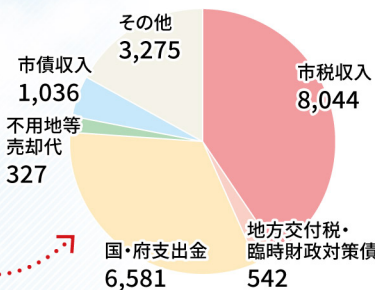
単純収支 232億円の黒字
実質収支 164億円の黒字(35年連続)
貯金 2,688億円(見込み)

単位:億円

※億円単位のみ記載。四捨五入の関係で若干の誤差があります

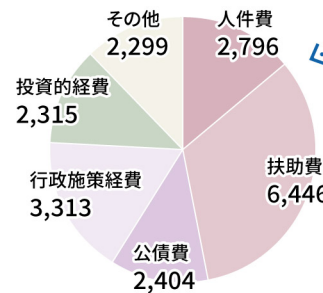
歳入総額

1兆9,805億円
+1.9%
+366億円



歳出総額

1兆9,573億円
+2.3%
+445億円



決算のポイント

→ 歳入は過去最高

固定資産税と市民税の増加、不要地の売却により増加。

→ 歳出も過去最高

障がい者自立支援給付費等の扶助費や、投資的経費(大阪公立大学の新校舎建設等)が増加。

→ 財政調整基金(貯金額)は政令市でNo.1

歳入-歳出の残金=財政調整基金は2,688億円に積みあがる見込み。

大阪市の財政調整基金残高だけで2位~9位までの残高を合計した金額を超えています

※令和4年度確定分にて作成

参考

政令指定都市 財政調整基金残高(令和4年度普通会計決算ベース) 単位:百万円

順位	団体名	財政調整基金残高
1	大阪市	245,229
2	名古屋市	37,717
3	さいたま市	37,616
4	福岡市	36,832
5	横浜市	31,352
6	札幌市	27,893
7	仙台市	27,311
8	岡山市	22,840
9	相模原市	20,841
10	堺市	19,832

1. 財政調整基金の在り方そのものについて

前提として、自治体における適切な貯金額の基準は存在しない

年間歳入の10%?それとも、想定される自然災害の予想被害額分?結局は考え次第で、自治体(首長)によって方針が異なる。

予算は単年度で執行し、貯金ではなく、必要に応じて地方債を発行し対応すべきでは?

適切な貯金額の基準がわからない以上、単年度できっちりと予算編成し執行した上で、急場の場合は地方債を発行すれば何ら問題ないではないか?歳入よりも歳出が少ないということは、納めて頂いた税金分の行政サービスを市民に実施していないことになる。

2. 大きく積みあがった財政調整基金をどのように活用するか?

2,688億円の財政調整基金は政令市の中で断トツの金額。また、令和5年度予算においては万博関連費用も多額に計上されており、万博閉幕後は単純にその分も黒字額に計上されるはず。今後も積みあがる貯金をどのように活用するか?

考え方1

減税

単純計算で個人市民税を8%程度減税できる。歳入額を歳出額に合わせる。

考え方2

投資

教育や福祉、街づくり等に積極的に投資していく。歳入額に歳出額を合わせる。

私は「減税すべき」だと考えています。理由としては、物価高騰が続く中で所得上昇が追い付いていないためです。物価が高騰すれば、それに伴い消費税も増えますから租税負担も増えます。万博への巨額投資も落ちていきますから、まずは市民の生活を

助ける意味で減税をするべきだと考えます。その結果、消費も回復し経済成長も見込めます。歳入が減る行為を自治体は嫌がりますが、市民の為の自治体です。今こそ仁徳天皇の治世「民のかまど」を実施すべきだと考えます!



須藤 しょうたの 目線

1992年(平成4年)生まれ

大阪市議員(天王寺区選出)

すどう

須藤 しょうた

X(ツイッター) @sudo_shota



日々の活動をSNSで発信中! ぜひご覧ください!!

※デバイスによっては読み取れない場合があります

続く災害！ 防災意識を高めよう 天王寺区は揺れに注意！

年末年始の能登半島地震から始まり、今年も多くの災害が各地で発災しました。海外では台湾の花蓮地震、直近では8月に起こった日向灘地震。南海トラフの前兆として注意報も発出されました。

災害が多い日本、今回は天王寺区で地震が起きた時の注意点をお伝えしたいと思います！



天王寺区は津波よりも揺れに注意！

耐震性能が向上した昨今では、地震そのものよりも津波の被害が大きくなると考えられています。特に南海トラフ地震では津波の被害が大きく想定されております。一方で、地域単位で見ると天王寺区は大阪市の中心部、かつ高台にあり、津波が到達することはあまり考えられません。

天王寺区が最も注意すべきは、天王寺区の真下に位置する「上町断層帯地震」です。文字通り「直下」で起こる上町断層帯地震は激しい揺れが想定されます。その際は建物の崩壊もありますが、屋内での家具等の下敷きによる怪我を防ぐ取り組みが必要です。

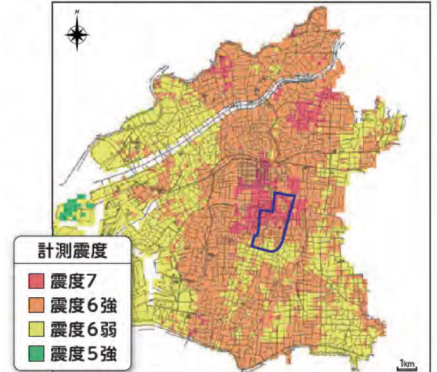
ぜひ、この記事を見られたら「揺れ」への対策を進めてください！

家具は固定し、高所に荷物を置かない。
今一度、点検をしてみましょう！

上町断層帯地震

天王寺区の災害想定

地震規模	マグニチュード7.5~7.8
天王寺区の最大深度	6弱~7
最大死者数	573人
建物の全半壊	2,813棟
停電率*	約64%
ガス供給停止率*	約81%
水道断水率*	約45%
電話不通率*	約13%

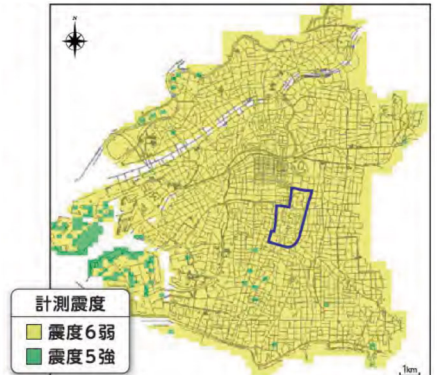


【出典】大阪市地域防災計画(震災対応編)(令和3年4月)

南海トラフ巨大地震

天王寺区の災害想定

地震規模	マグニチュード9.1
天王寺区の最大深度	6弱
最大死者数	3人
建物の全半壊	2,106棟
停電率*	約49%
ガス供給停止率*	約53%
水道断水率*	約30%
下水道機能支障率*	約5.4%
電話不通率*	約48%



【出典】大阪市地域防災計画(震災対応編)(令和3年4月)

出典:天王寺区防災ハンドブックより <https://www.city.osaka.lg.jp/tennoji/page/0000267790.html>

*ライフラインの被害については、大阪市全体の被害想定です

皆様の

安全・安心を守るための基盤強化に取り組み、世界都市大阪の実現へ！

大阪市議員を4期、衆議院議員を2期勤めさせていただきました。現在、自民党大阪府第一選挙区支部長の西大西ひろゆきです。

天王寺区では、上町断層を震源とする地震が発生した場合、最大震度7と予想されており、内陸活断層として今後30年以内に2~3%の

確率で発生するとされています。天王寺区内は震源から近い場所に位置するため、大きな被害が想定されています。

日頃から非常持ち出し品・非常備蓄品の用意を確認しておくことと、地域の避難場所の確認をしておくことが大切です。

国としても徹底した災害対策を推進し、世界都市大阪を実現するためには安全・安心を守るための基盤強化に取り組んでまいります。また、国際情勢の変化や、地震の大規模災害などへの対応として、国土強靱化・治安・テロ対策を進めます。



前衆議院議員 元防衛大臣政務官 / 元内閣府大臣政務官

おおにし

大西 ひろゆき

Hiroyuki Onishi

公式サイト

onishihiroyuki.jp



日々の活動を

SNSで発信中！

ぜひご覧ください！！

※デバイスによっては読み取れない場合があります

本紙は掲載の皆様の協賛・取材協力により、制作されております

蓮美幼児学園

株式会社 VALT

サンエール住宅

(株)千勝不動産

赤松種苗株式会社

平岡 弘章 (個人)

※順不同

区民ニュースにご協力いただける団体様がありましたら、須藤市政事務所へご連絡ください。

発行者

大阪市議員 天王寺区選出

すどろ 須藤しょうた

ホームページやSNSで最新情報発信中！



公式ホームページ sspo.jp

ツイッター @sudo_shota



本紙に関するお問い合わせ先

須藤しょうた市政事務所

〒543-0026 大阪市天王寺区東上町9-15 アバンテ東上町2F
TEL 06-6710-4544

※デバイスによっては読み取れない場合があります